

令和2年度一般会計予算（案）の特色

予算編成方針

1 予算編成の基本的な考え方

令和2年度の予算編成は、明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町、次世代に誇れる竜王町を創る施策をさらに推進していくこととする。

また、引き続き将来の健全な財政運営を見据え、財政規律を守りながらも、将来のまちづくりに向けた計画的かつ効果的な事業の実施および本町が抱える課題の解決に向け全庁挙げて取り組んでいく。

あわせて、「歳入に見合った歳出」とするため、事業の見直し、合理化等の歳出の削減はもちろん必要であるが、国・県費等について、本町で活用できるものがないか情報収集に努め、有効的に活用する予算編成を基本とする。

2 基本方針

「第五次竜王町総合計画」が目指すまちの姿「“ひと”育ち みんなで煌く交竜の郷」の実現に向け、本町の資源を創意工夫によって多様に活用していくとともに、わがまち竜王町まちづくりフォーラムで掲げた「活力」と「安心」を柱とした次の8つの施策や重点施策プロジェクトを推進し、「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町」、「次世代に誇れるまち竜王町」の実現を目指していく。

また、今後も加速する超少子高齢や人口減少を見据え、新しいまちづくりの手法を用い、持続的な発展を目指した効果的な施策の展開も図っていく。

加えて、令和2年度は、「第五次竜王町総合計画」の最終年度であるため、それぞれの進捗状況や成果・効果を検証し、各計画の目標達成に向けた取組を着実に推進するとともに、次期計画への展開について検討も行っていく。

特に、中心核構想（「10年後のコンパクトシティ化構想」と「30年後のグランドデザイン」）については、最優先事項として、その実現に向け、重点的かつ着実に取組を進めていくこととする。

「活力」と「安心」を柱とした8つの施策

(1) 活力あるまち創り

- ①コンパクトシティ化構想実現に向けた中心核の拠点整備
- ②魅力ある農業・商業・観光業などがそれぞれ力を発揮する舞台づくり
- ③工業団地等への企業誘致の推進および若者定住対策と雇用の促進
- ④竜王で子どもを育てたいという教育の充実

(2) 安心して暮らし続けられるまち創り

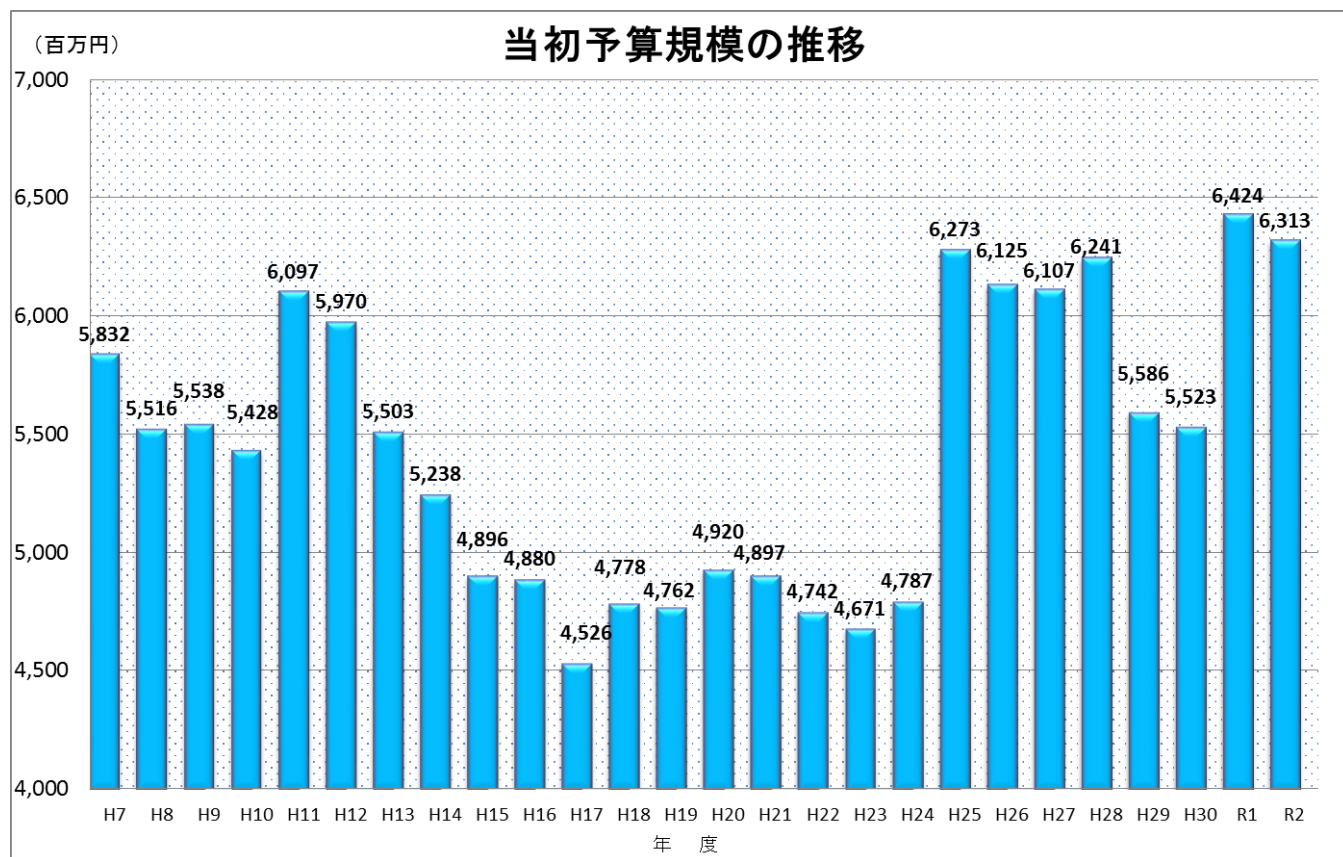
- ①安心して子どもを産み、育てられる環境づくりと子育て支援等の充実
- ②健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
- ③持続可能な地域公共交通や移動手段の確保
- ④防災情報システムの構築と自主防災組織の機能強化を核とした防災体制強化

予 算 額

一般会計の総額は、63 億 1,300 万円とし、前年度に比べ1 億 1,100 万円の減、率にして1.7%の減としました。

令和2年度当初予算案については、平成29年度から開始している重点施策プロジェクトを力強く推進しつつ、明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町、次世代に誇れる竜王町を実現するため、「活力あるまち創り」、「安心して暮らし続けられるまち創り」を柱として、8つの施策に予算を重点配分しており、『**活力と安心のまち、向かう未来へ いざ前進**』予算としています。

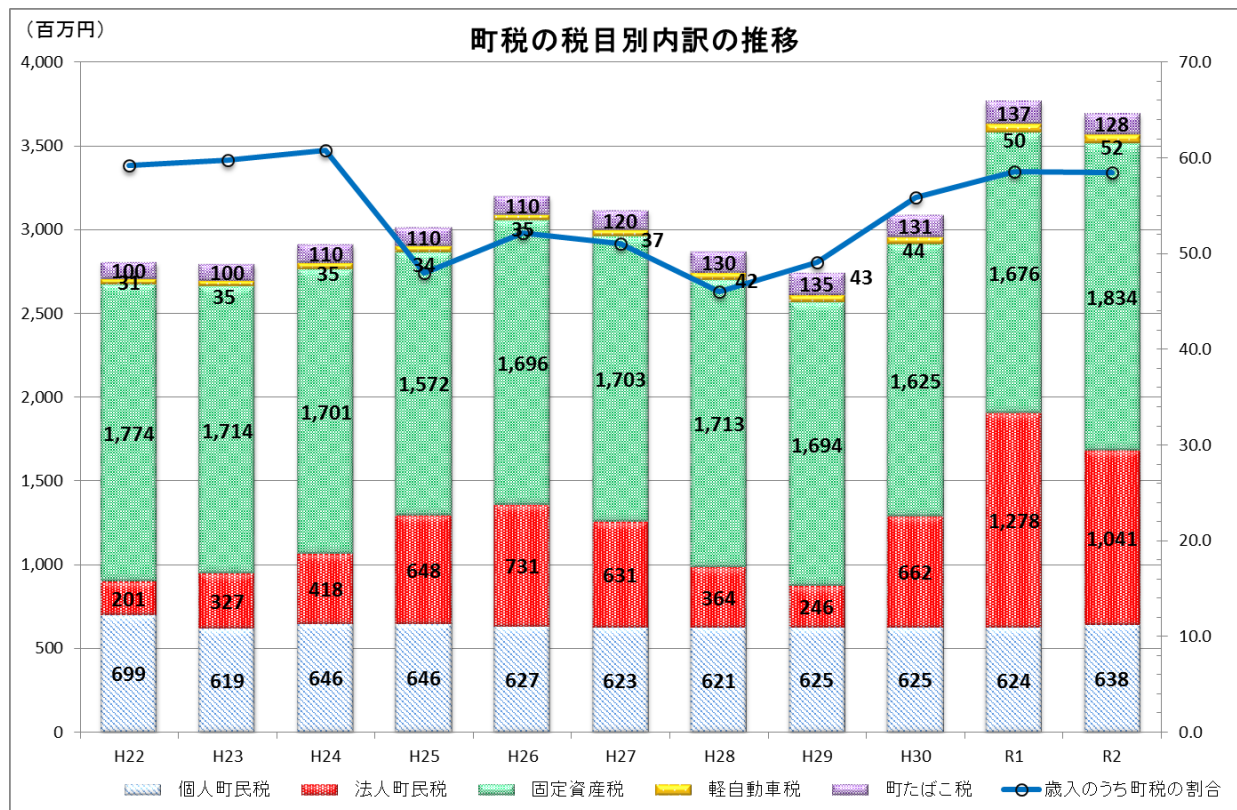
具体的には、コンパクトシティ化構想に基づく中心核整備、そのリーディングプロジェクトである竜王小学校の移転新築等に向けた準備、また新しい公共交通システム構築のほか、2つの道の駅の充実、農業の振興、滋賀国スポ開催に向けたボルダリング施設整備と選手育成、防災行政情報システム整備等、将来を見据えた積極的な予算としています。（防災行政情報システムの整備費の減額分に対して、その他増額分を総合すると、前年度に比べ1 億 1,100 万円の減額となるものの、予算規模は過去2 番目となりました。）



[歳入] (主なもの)

町税 36 億 9,380 万円 (6,991 万円、1.9%減)

法人町民税について、税制改正に伴う法人町民税率の引き下げにより 2 億 3,683 万円の減としました。一方で固定資産税については、償却資産の増加を見込み、1 億 5,870 万円の増としました。



法人事業税交付金 1 億 1,375 万円 (1 億 1,375 万円、皆増)

地方法人特別税・譲与税制度の廃止に伴う法人町民税法人税割の減収分の補てん措置として、法人事業税の一部が県から交付されることにより、新規に見込みました。

地方交付税 3,000 万円 (3,000 万円、0.0%増減)

普通交付税は引き続き不交付を見込んでおり、特別交付税について、前年同額を計上しました。

分担金及び負担金 4,420 万円 (2,541 万円、36.5%減)

令和元年 10 月からの幼児教育の無償化に伴い、保育所運営費負担金 2,316 万円の減としました。

国庫支出金 5 億 4,195 万円 (644 万円、1.2%減)

個人番号カード交付事業費補助金 578 万円、施設型給付・地域型保育給付負担金 405 万円の増や戸籍システム改修事業費補助金 735 万円を新規に見込む一方で、社会資本整備総合交付金 (公園長寿命化) 1,900 万円、地方創生推進交付金 1,150 万円、プレミアム商品券事務費補助金 491 万円を減としました。

県支出金 5億767万円（160万円、0.3%増）

参議院議員選挙費委託金1,067万円、学ぶ力向上支援事業補助金500万円、戸別所得補償経営安定推進事業補助金375万円、障害者自立支援給付費負担金227万円の減を見込む一方で、地域密着型サービス施設等整備費補助金3,360万円、介護施設等開設準備経費補助金755万円を新規に見込みました。

財産収入 5,815万円（4,815万円、481.2%増）

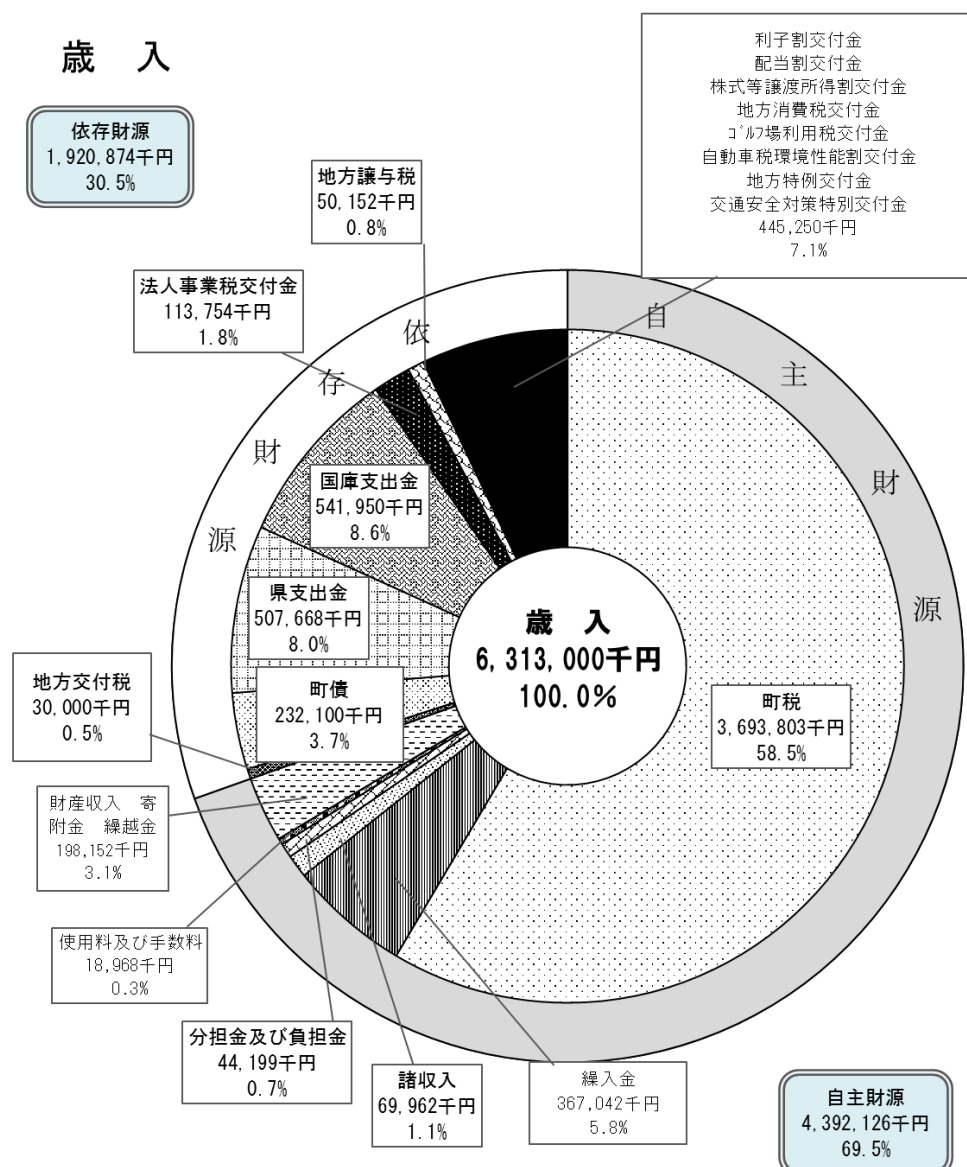
道の駅竜王かがみの里機能拡充に係る土地売却収入4,880万円を新規に見込みました。

繰入金 3億6,704万円（9,523万円、35.0%増）

未来につなぐふるさと交遊基金繰入金6,500万円、財政調整基金繰入金4,200万円の増としました。

町債 2億3,210万円（3億1,660万円、57.7%減）

防災行政情報システム整備にあたり1億1,530万円、橋梁耐震修繕工事にあたり3,600万円、農林公園施設整備にあたり1,830万円の町債の発行を見込みました。



[歳 出]

《 目的別 》

議 会 費 7,515 万円 (280 万円、3.6%減)

管理用備品や議員改選関係経費が減少しました。

総 務 費 9 億 8,095 万円 (8,262 万円、9.2%増)

臨時職員費 (賃金・保険)、情報系システム開発・管理事業、参議院議員選挙費、町議会議員選挙費、プレミアム商品券発行事業等が減少したものの、道の駅竜王かがみの里管理事業、会計年度任用職員費、中心核整備事業、戸籍住民登録費、ふるさと納税推進費等が増加しました。

民 生 費 17 億 3,174 万円 (5,309 万円、3.2%増)

保育所運営費、老人保健施設整備事業、児童手当等が減少したものの、高齢者福祉施設等整備事業、介護保険特別会計繰出金、児童発達支援事業、後期高齢者医療費、放課後児童健全育成事業、福祉医療費助成事業等が増加しました。

衛 生 費 4 億 6,602 万円 (1,736 万円、3.6%減)

八日市布引ライフ組合 (斎苑) 負担金、保健センター管理費、母子保健事業等が減少しました。

労 働 費 1,290 万円 (55 万円、4.5%増)

シルバー人材センター育成事業等が増加しました。

農林水産業費 3 億 8,155 万円 (2,108 万円、5.8%増)

日野川流域土地改良区負担金、林業振興費・一般管理、農業水路等長寿命化・防災減災事業、魅力ある農業の創生事業等が増加しました。

商 工 費 1 億 220 万円 (654 万円、6.8%増)

竜王近江牛等特産品発信事業、ふるさと竜王夏まつり事業等が減少したものの、産業振興奨励事業、軽自動車購入助成事業等が増加しました。

土 木 費 6 億 4,191 万円 (1,980 万円、3.0%減)

河川総務費・一般管理、公共下水道事業繰出、若者定住のための住まい助成事業、都市計画マスタープラン策定 (改定) 事業等が増加したものの、総合運動公園管理運営事業、道路橋梁整備事業、道路橋梁維持管理費等が減少しました。

消 防 費 3 億 8,767 万円 (2 億 7,517 万円、41.5%減)

町ハザードマップ作成事業、消防団運営事業、災害時要援護者支援事業等が増加したものの、防災情報通信設備整備事業、町防災計画作成事業、防災資機材整備事業等が減少しました。

教 育 費 8 億 488 万円 (6,927 万円、9.4%増)

中学校施設整備事業、小学校コンピュータ整備事業、中学生海外派遣研修事業、人権教育・啓発事業、ふるさと文化振興事業等が減少したものの、竜王小学校建設事業、埋蔵文化財緊急発掘調査事業、給食センター管理費、学校現場業務改善推進事業、早寝早起き朝ごはん推進校事業等が増加しました。

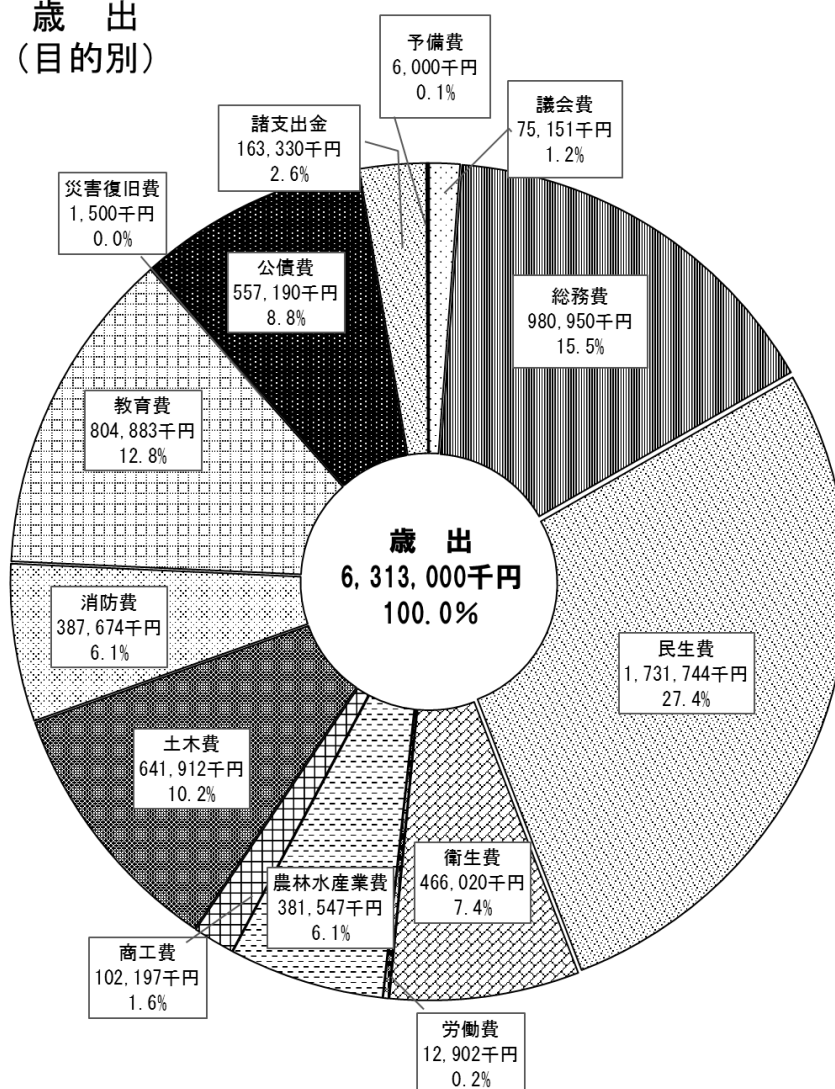
公 債 費 5 億 5,719 万円 (2,855 万円、4.9%減)

償還元金、償還利子が減少しました。

諸 支 出 金 1 億 6,333 万円 (78 万円、0.5%減)

竜王町森林環境譲与税基金積立等が減少しました。

歳 出
(目的別)



《 性質別 》

人 件 費 15 億 3,801 万円 (2 億 118 万円、15.0%増)

会計年度任用職員制度への移行等により増加しました。

物 件 費 10 億 1,195 万円 (9,643 万円、8.7%減)

ワクチン接種委託料、中心核整備推進業務委託料、橋梁修繕計画策定業務委託料、

竜王小学校耐力度調査業務委託料、竜王町洪水・土砂災害ハザードマップ作成業務委託料等が増加したものの、橋梁点検業務委託料、まるごと「スキヤキ」プロジェクト推進業務委託料、会計年度任用職員制度への移行により臨時職員賃金等が減少しました。

維持補修費 3,029 万円 (1,408 万円、86.8%増)

農林公園施設、中学校および給食センターの維持補修に係る経費が増加しました。

扶助費 9 億 1,214 万円 (2,134 万円、2.3%減)

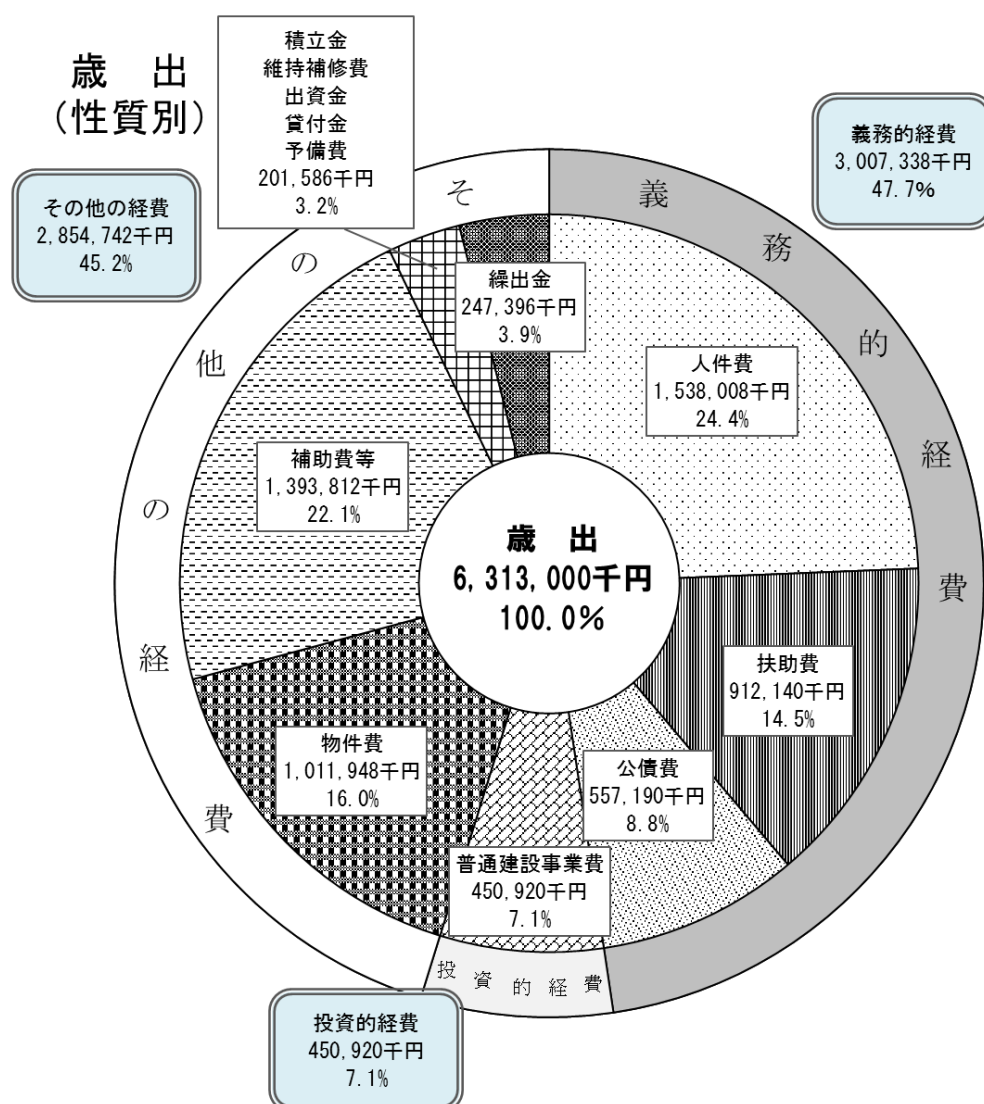
福祉医療扶助費等が増加したものの、児童手当、保育所運営費等が減少しました。

補助費等 13 億 9,381 万円 (5,844 万円、4.4%増)

老人保健施設整備事業補助金、空中写真測量業務負担金、ふるさと竜王夏まつり実行委員会補助金等が減少したものの、蒲生野歴史街道運営協議会負担金等の増加や高齢者福祉施設等整備事業補助金、区長報償費の新規計上により増加しました。

普通建設事業費 4 億 5,092 万円 (2 億 4,733 万円、35.4%減)

橋梁耐震修繕工事、災害防止対策工事、庁舎機械設備整備工事、農林公園施設整備工事等が増加したものの、防災情報システム整備、総合運動公園設備等改修工事等が減少しました。



「活力あるまち創り」

【1 コンパクトシティ化構想実現に向けた中心核の拠点整備】

【Ⅲ】①コンパクトシティ化構想に基づく中心核の整備 1,095 万円《新》

コンパクトシティ化構想に基づき具体的な手法を示した中心核整備基本計画を基に、地元や国、県などの関係者との協議を進めるとともに竜王小学校整備基本構想とも整合性を取り、中心核整備を進める。

【2 魅力ある農業・商業・観光業などがそれぞれ力を発揮する舞台づくり】

【Ⅲ】①道の駅アグリパーク竜王モデル化の推進 4,998 万円

重点道の駅「アグリパーク竜王」について、「モデル道の駅」をめざし、施設の整備を行い、生産者、出荷者、消費者との交流の場として来訪者の増加を見込む。

【Ⅲ】②竜王近江牛等特産品の魅力を発信 5,380 万円《拡》

町内の生産者、企業、関係機関、行政が連携し、まちの魅力の発信を行う。また、重点道の駅「竜王かがみの里」の駐車場の拡大等を図る。

【Ⅰ】③魅力ある農業の創生と農業振興のあり方の検討 835 万円

野菜・果樹・近江牛等の魅力ある農産物を真のブランドとして創生するため町独自の支援をする。また、農業のあり方について幅広い分野からの意見を聞く中で、担い手の育成、経営基盤の安定、産地の育成強化、土地改良施設等の維持保全等について竜王町農業の方向性を見出す。

【Ⅰ】④土地改良施設の機能強化 2,141 万円《新》

農村保全に取り組める環境整備を図るための人的強化を行う。また、ため池詳細調査の実施、農業用ため池のハザードマップを作成する。

【3 工業団地等への企業誘致の推進および若者定住対策と雇用の促進】

【Ⅲ】①滋賀竜王工業団地等への企業立地の早期実現 95 万円

企業が活動しやすい環境づくりや企業誘致を積極的に実施し産業の高度化および地域の活性化を図る。

【Ⅲ】②若者定住のための住まい助成 1,654 万円《拡》

若者の定住を促進するため、住宅の新築およびリフォームならびに家賃への助成を行うことで定住化を図る。また、町有地を活用した住宅地確保に向けた検討も継続する。

【4 竜王で子どもを育てたいという教育の充実】

【Ⅱ】①竜王小学校の移転新築等に向けた準備 1,161 万円《新》

令和7年4月に開校をめざす竜王小学校の移転新築について、令和元年度の基本構想を基に基本計画を策定するための準備を進めるとともに、移転予定区域内にお

ける文化財試掘調査を行う。

【Ⅲ】②滋賀国スポ開催に向けたボルダリング施設整備と選手育成 344 万円《拡》

竜王町総合運動公園内に県大会レベルの開催が可能な常設ボルダリング施設を整備するための準備を進める。また、アスリートの育成に向けた支援に取り組む。

【Ⅲ】③きめ細かな教育の推進 7,545 万円

町費による各種支援員等を町内校園に配置し一人ひとりに寄り添うきめ細かな指導や支援を充実する。

【Ⅲ】④生きて働く基礎学力の定着 95 万円

児童生徒の基礎学力の定着に向けた指導力の向上、また「徹底反復学習」に取り組み、集中力の向上や脳の活性化を図り総合的な学力の向上をめざす。

【Ⅲ】⑤幼小中系統的英語教育の推進 684 万円《拡》

英語教育について幼小中の系統性を一層重視し、英語教育の更なる充実を図る。

【Ⅲ】⑥子どもの健やかな成長を支援する家庭教育の充実 131 万円《新》

国の「早寝早起き朝ごはん」推進校事業の委託を受ける中「家庭教育」を社会教育推進の大きな柱として取組を進める。

「安心して暮らし続けられるまち創り」

【1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくりと子育て支援等の充実】

【Ⅱ】①小中学生の医療費無償化を継続 3,123 万円

小学生から中学校卒業までの医療費の無償化を継続する。(平成 29 年 10 月から実施)

【Ⅱ】②放課後児童の健全な育成 4,401 万円《拡》

児童数の増加に伴い西小学校区の学童保育所を 1 クラス増設し、合計 5 クラスにより、昼間就労等で保護者が不在の児童に対し安心して安全な育成の場を提供する。

【Ⅱ】③給食センター内の食物アレルギー対策 580 万円《新》

安全で安心な学校給食づくりを一層推進ため、給食センター内にアレルギー対応調理室を設置する。

【Ⅲ】④軽自動車の購入助成 159 万円《拡》

定住促進および子育て世帯の支援を目的とした軽自動車購入の助成に加え、高齢者を対象に先進安全性能を備えた軽自動車購入に対する助成を追加し、地域経済の活性化を図る。

【2 健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実】

【Ⅲ】①りゅうおう健康ベジ7（セブン）チャレンジの更なる推進 115 万円《拡》

本町の健康課題である糖尿病および高血圧症などの予防のため、健康いきいき竜王 21 プランに基づき、地域や関係機関と協働して取組を進めることで、健康寿命の更なる延伸を図る。野菜 350g、塩分 7g 未満、血圧チャレンジに加えて、今年度は受動喫煙の防止、こころの健康づくりに取り組む。

【Ⅳ】②地域支え合いサポート事業による地域コミュニティの強化 132 万円《拡》

少子高齢化に伴う地域課題を洗い直し、地域住民自らが解決する方法を見出すための取組を支援する。

【Ⅱ】③高齢者福祉施設の整備 4,115 万円《新》

第 7 期介護保険事業計画に基づき、認知症高齢者グループホームの整備の促進および安定した体制整備を支援する。

【3 持続可能な地域公共交通や移動手段の確保】

【Ⅱ】①新しい公共交通システムの構築 1,092 万円

子育て支援、定住促進等を目的とした通学定期補助や夜間特別便を継続実施するとともに、地域と中心核をつなぐ移動手段の整備に向け社会実験を実施し、利便性の高い公共交通システムの構築をめざす。

【Ⅱ】②竜王大橋の耐震補強と道路交通網の長寿命化 1 億 3,500 万円

緊急輸送道路上に位置する竜王大橋について耐震補強工事を完了させる。また、町道の舗装修繕等による長寿命化を図り通行の安全を確保する。

【4 防災情報システムの構築と自主防災組織の機能強化を核とした防災体制強化】

【Ⅱ】①竜王町防災行政情報システムの整備 1 億 1,668 万円

昨年度から実施している情報伝達手段の充実化および多重化を図るための防災行政情報システムの整備を完了させる。全戸に戸別受信機を設置するとともに、情報伝達アプリの整備を行う。

【Ⅱ】②竜王町洪水・土砂災害ハザードマップの作成（更新） 617 万円《新》

令和元年度に更新された滋賀県の地先の安全度マップと国の洪水浸水想定区域図を基に、最新の町のハザードマップに更新し、災害予防対策に活用する。

【Ⅱ】③日野川改修・国道 8 号整備の強化 300 万円《拡》

日野川の抜本改修、国道 8 号の整備等に係る国・県要望を強化し加速化を図る。

「その他」

【一】 ①町長選挙費 900 万円

令和2年6月に執行予定の町長選挙の執行に係る経費。

【IV】 ③スーセイ・マリー市友好親善使節団の受入れによる国際交流の推進 184 万円

本町と姉妹都市であるアメリカ合衆国スーセイ・マリー市からの派遣団員を受け入れる。

【IV】 ④第50回町民運動会「ドラゴンピック2020」記念大会 200 万円

(町民運動会実行委員会補助金)

「スポーツが地域を元気にする」を合言葉に、一人でも多くの町民の参加による運動会を開催することにより、スポーツを通じて健康で活力あるまちづくりを推進するとともに、町民運動会を地域交流推進の場とする。

※【Ⅰ】～【Ⅳ】は、第五次竜王町総合計画におけるまちづくりの考え方（基本理念）に基づいて分類しております。

【Ⅰ】：「豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり」

【Ⅱ】：「みんなが安心して暮らせるまちづくり」

【Ⅲ】：「チャンスを活かすたくましいまちづくり」

【Ⅳ】：「町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり」

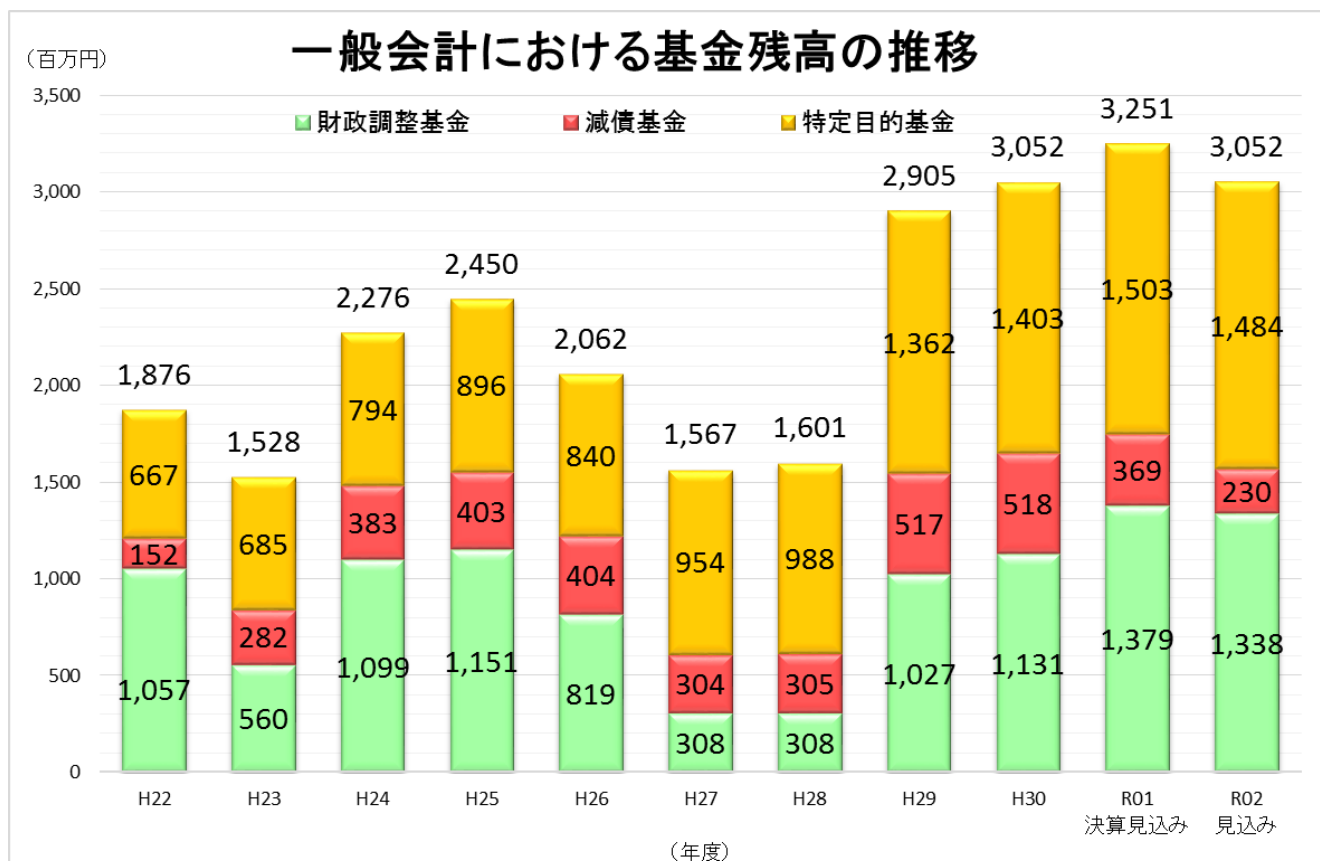
基金残高見込みについて

令和元年度についても、引き続き町税収入が好調であることから、財政調整基金へ約2億5,000万円の積立てを予定している。これにより、令和元年度末で同基金の残高は13億8,000万円程度になると見込んでいる。

令和2年度一般会計当初予算（案）においては、引き続き安定した税収を確保できると見込んではあるものの、税制改正に伴う法人税率の引き下げの影響等を受け同基金から4,200万円を取り崩すこととしており、令和2年度末の同基金残高は13億4,000万円程度になると見込んでいる。

減債基金については、昨年度に引き続き町債の一部を繰り上げて償還するため1億4,014万円の取崩しを予定していることから、令和2年度末の同基金残高は約2億3,000万円になる見込みである。

また、その他の特目基金について様々な行政課題に対応するため各特定目的基金から1億8,490万円の繰入れを予定しているが、未来につなぐふるさと交遊寄附金1億2,000万円、竜王町立竜王小学校改築基金への積立て3,000万円等を見込んでいるため令和2年度末の残高は令和元年度見込みと同程度の約15億円を見込んでいる。

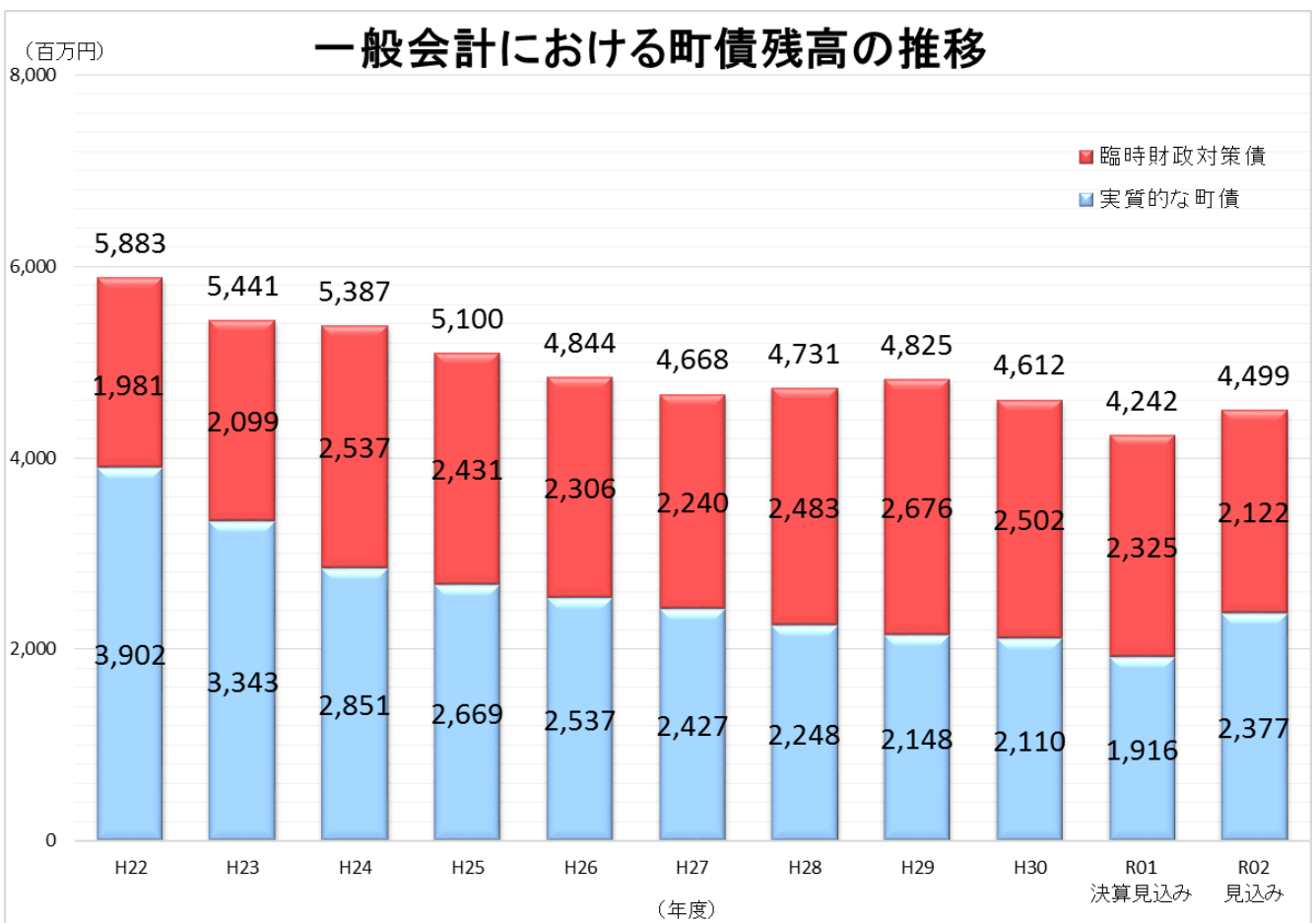


町債の発行および残高見込みについて

町債発行額は、2億3,210万円で前年度当初予算と比べると3億1,660万円（57.7%）の減としている。この主な要因は、令和元年度から引き続き実施する防災行政情報システムの整備について、令和2年度においては、1億1,530万円の町債発行を予定しているが、前年度に比べると2億8,890万円減額しているためである。

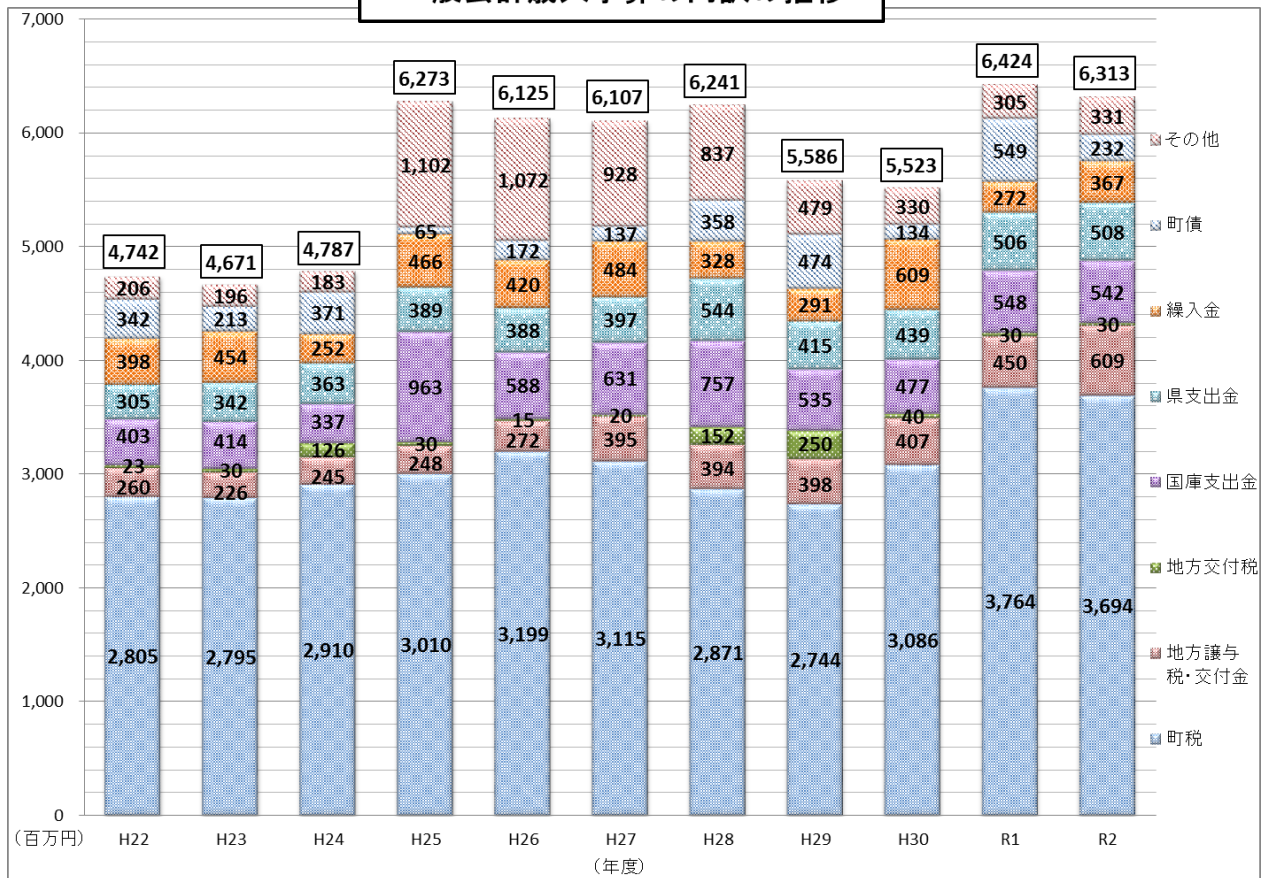
令和2年度末の町債残高は、44億9,884万円、対前年度約6.1%増となる見込みである。本年度についても前年度に引き続き、例年の元金償還約4億円に加えて、過去に借り入れた町債の一部約1億4,000万円の繰上償還を予定しているが、防災行政情報システムの整備など、令和元年度からの繰越事業分について令和2年度中の町債発行を予定しているため、令和2年度末の残高は約3億円増加する見込みである。

なお、臨時財政対策債については、引き続き普通交付税の不交付を見込んでおり、発行する予定がないことから、減少を見込んでいる。



その他（参考）

一般会計歳入予算の内訳の推移



一般会計歳出予算の内訳の推移

